

vol.1

スイスの芸術家と歩く、 宮津のまち再発見。

参加費無料
先着 30 名

※カフェでの飲食は
各自実費負担が
必要です。

120 年前の芸術家が愛した風景を紐解く特別な 1 日

ケラーマンとヴァルザーの足跡を辿るまちあるきから、
旧三上家住宅にて、スイスの芸術家たちと文化交流会を行います。
一緒にまちを歩き、お互いを知って仲良くなりましょう！

【参加アーティスト（敬称略）】



ドミニク・ウルドリ
(写真家)



アルミン・ゼンサー
(詩人)



クリスチーネ・プファマッター
(作家)



奥田 修
(美術史家・企画者)

第1部 まちなかウォーク

集合場所：道の駅 海の京都 宮津

12:30 | 受付開始

13:00 | まちなかウォーク(約1時間半)

案内人：宮津市教育委員会

第2部 文化交流会 場所：旧三上家住宅

14:30 | 旧三上家着 カフェタイム(各自実費負担)

15:00 | ・Opening Music:

「音と言葉の展覧会」～現代版宮津節、他～

＜フルート：奥野英恵氏、朗読：井笹立子氏＞

・カール・ヴァルザー講座

＜奥田氏、ウルドリ氏＞

・音の響きを楽しむ詩の朗読

＜ゼンサー氏、プファマッター氏＞

・フリートーク ※通訳あり

17:00 | 閉会

2026年
4月26日
(日)

vol.2

宮津滞在。芸術家の眼差し。

活動報告 & Farewell Party

2週間の滞在を経て、見えてきた宮津の魅力

宮津での滞在制作を終える芸術家たち。
彼らのファインダーや心には、どんな宮津が映ったのでしょうか？
写真を通じた振り返りと、自由な対話、そして美味しい食事とお酒を囲んで。
これまでの繋がりをより深め、未来へ繋げるひとときを共に過ごしましょう。

第1部

予約不要・無料/先着30名

活動発表& フリートーク

「滞在の記憶：アーティストが見たMIYAZU」

時間 16:00 ~ 17:30 (受付15:30)

登壇者
ドミニク・ウルドリ氏
アルミン・ゼンサー氏
クリスチーネ・プファマッター氏
奥田 修氏

プログラム ※通訳あり

写真振り返り：ウルドリ氏が切り取った宮津の風景を見ながら、新たな気づきや魅力を語ります。

フリートーク：アーティストと参加者の垣根を超えた、自由な対話の時間。

総括：全体のまとめと、これからの展開について。

第2部

予約制・有料

Farewell Party (送別交流会)

「祝杯と交流：宮津の食を囲んで」

時間 18:00 ~ 21:00

Special Menu

DRINK: 飯尾醸造の元杜氏による
「日本酒飲み比べ&ペアリング」
他、ノンアルドリンクも多数

FOOD: 4月に復活した名店「カネマスの七輪焼き」
による、厳選メニュー

交流サポート

通訳スタッフのほか、英語サポートメンバーが数名参加します。
言葉の壁を気にせず、気さくに会話を楽しみましょう。

2026年
5月3日
(日)

会場 MIZUYA 〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2085 TEL:0772-45-1734
MIZUYAとは：元公共施設を活用した民間のホテルです。地域の交流拠点としても活用されています。

料金 第1部:無料 / 第2部:5,000円
+追加オプションメニューあり
第2部からの参加もOKです!

ご予約は
こちらから →



プログラムについての問合せ 090-6201-0033 (担当:羽田野)

主催：宮津市・宮津市教育委員会 / 運営：(株)宮津町家再生ネットワーク